



高槻だより



- ・あいさつで心通わす
- ・全力を出し切ってがんばる
- ・お互いを支える思いやりをもつ
- ・自分の、友だちの、命を守る



子ども

子どもにとって「学んでよかった」学校 保護者、地域にとって「預けてよかった」学校。信頼のおける学校をめざして。

後期前半、ご支援、ご協力、ありがとうございました。よいお年を お迎えください。

17日からの個人懇談会では、お忙しい中でのご参加、ありがとうございました。短い時間でしたが、担任と後期前半の学習や生活について、お話ができたことと思います。

今学期は、運動会をはじめ、学校行事や学年行事、学級活動や学習に、充実した学期になりました。様々な学習や活動を通して、子どもたちは、一回りも二回りも大きく成長したのではないのでしょうか。充実した学校生活を送れたのも、保護者の皆様や地域の皆様の日々のご配慮、ご支援があったからこそと感謝しております。ありがとうございました。

24日からの冬休みは、15日間あります。大晦日や正月などに関わる、日本の伝統的な行事もあります。家族や親せきの方々と過ごす時間も多くなるといえます。家族で過ごす時間を大事にして、手伝いや家の中での役割を主に、この冬休みは過ごしてほしいと願っています。事故なく、元気で有意義に過ごせますよう、そしてよい年をお迎えください。後期後半もどうぞよろしくお願いいたします。

R7年度、児童生活学習アンケート結果について

12月初めに全校児童対象に、生活学習アンケートを行いました。結果が集約できましたので、主だった結果をお知らせします。なお、学校ホームページには、質問回答数値を開示予定ですので、併せてご覧ください。また、5月初めにを行いました、全国学力テスト(6年生対象)の本校の結果もホームページに開示いたします。

学習においては、「学習で間違えたところやわからないところについて、「先生はわかるまで教えてくれますか」肯定的な児童の回答は82%。「学校の授業はわかりやすいですか」肯定的な児童の回答は81%でした。学習内容の理解はできていると回答した児童は85%です。児童の実態に基づいた授業改善を行い、全児童が「わかる」「できる」授業を職員と切磋琢磨しながら取り組んでいきたいと思っています。また、繰り返し反復の学習を大事にして、基礎基本の定着を図ってきたいと思っています。家庭での学習時間は、30分から1時間以上と回答した児童は53%でした。タブレット端末を活用した家庭学習の推進を行っていききたいと思っています。

「学校は楽しいですか」に肯定的な回答をした児童は82%。勉強や友達のことなどで悩みがあると答えた児童は33%でした。どの子も「学校が楽しい」「安心できる」場にするために、一人一人の居場所づくりと個の思いや考えが認め受け入れられる場にするために、家庭、地域、そして専門機関と連携して子どもの見守りを続けていきたいと考えています。

「自分にはよいところがありますか」に肯定的な回答をした児童は、76%。昨年度より少しずつですが、自己肯定感は上がっています。先生に褒められる75%、おうちの人に褒められる86%と、ほめられる場や機会も増えているようです。褒められると回答した児童は、学年が上がるにつれて少なくなっているため、学校でも、家庭でも、機会を捉えて「褒める。認める。」場と機会をつくり、子どもの自己肯定感を高めていきたいです。自分から進んで挨拶をすると回答した児童は83%。地域の行事に参加していると回答した児童は66%でした。毎朝、また水曜日の放課後等に、地域の方や保護者の方が通学路の見守りをしてくださっています。挨拶はコミュニケーションの第1歩です。家庭でも、学校でも、地域でも、誰に対してもしっかりとあいさつができる子になってほしいです。

楽しい影絵—劇団風の子による観劇—

12月15日(月)に、全校で劇団風の子さんによる影絵を鑑賞しました。インドネシアに伝わる民話「バンバンとトラ」です。細やかな細工の影絵に歌や劇もあって、子どもたちは大喜びでした。自然や動物をいたわる気持ち、家族を大切に相手を思う気持ちを大事にしようがテーマでした。大きなスクリーンに映し出される影絵は美しく、幻想的でした。最後の感想では「影絵の動きが面白かった」「いろいろな動物が出てきて楽しかった」「どうやって影絵を動かしているのか不思議だった」と、皆楽しそうでした。



みんなで頑張った。縄跳び集会。

12月18日(木)に、縦割り活動で、縄跳び集会をしました。早くからグループごとに、休み時間を利用して、練習をしていました。どのグループも練習の成果が発揮され、とべる回数も増えていったようでした。最後に、リーダーさんが中心になって、楽しかった感想をそれぞれに伝えていました。